

石巻専修大学が3Dプリンタで作成した立体模型による
「心の復興」プロジェクト “ふるさと、石巻の情景”を展示
～ マテリアルを提供したMUTOH本社ショールームにて首都圏初お披露目 ～
2015年2月4日まで公開中

MUTOHホールディングスの傘下で、3Dプリンタ販売などを手掛ける武藤工業株式会社（本社：世田谷区、社長：早川 信正）は、石巻専修大学（本校：石巻市、学長：坂田 隆）理工学部様へフルカラー3Dプリンタを2010年に設置納入いたしましたご縁で、東日本大震災において甚大な被害を被った石巻の沿岸部を立体模型で復元し、被災者の方々に元気、希望、奮起を醸成するきっかけを願ってはじめられた「3Dプリンタ活用による石巻市沿岸部の復元立体模型の製作」プロジェクトに賛同し、同プリンタで使用される石膏パウダーマテリアルをご提供いたしました。同プロジェクトは、経営学部准教授の益満 環氏、理工学部准教授の高橋 智氏が発起人となり、弊社以外にも、石巻信用金庫様、国際航業株式会社様、財団法人前川報恩会様、日本電気株式会社様、NECネットイノベーション株式会社様が協賛企業として加わり、文部科学省のご支援を受け、拓建技術株式会社様、株式会社西條設計コンサルタント様のご協力と、石巻専修大学の8名の学生様とご指導された教職員の皆様、そして被災に合われた住民の皆様の心のご支援を受け200日以上を費やして完成したものです。

首都圏で初お披露目の機会を得ました模型は、移動展示用に新たに作成された1/4スケールモデル（1m×1m）ですが、震災後の航空写真など当時の記録も併せて展示いたしております。

MUTOHホールディングスならびにグループ会社は、これからも引き続き石巻専修大学の「復興共生プロジェクト」への支援を続けてまいります。

<製作ストーリー>

石巻専修大学は、震災では幸運にも津波の直接の被害はなかったものの、学生・教職員の方々やご家族には、多くの被災者の方々がおられました。震災直後に、大学として復興に向けた支援策の話し合いの中で生まれた「復興共生プロジェクト」の一環として、最初に持ち上がった案件が、津波により崩壊状態となった沿岸部を復元することで、この土地に生きた住民の歴史や、生きざまを思い起こす昔の町並みで形にできないか？と。その姿を見ることで復興のための元気、希望を取り戻して前に進んでいけるのではないかと。の願いが込められた「3Dプリンタ活用による石巻市沿岸部の復元立体模型の製作」プロジェクトでした。

石巻専修大学による「復興共生プロジェクト」とりくみは:

<http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/isocial/fukkou/torikumi.html>

2011年7月にプロジェクトは動き出すのですが、大学にはデジタルデータなど無く、地図ソフト制作会社や測量会社などへ問い合わせを続ける日々の中、国際航業様が3Dデータを無償で提供していただけることとなり、一つ目のハードルをクリア。しかし、3Dプリンタの最大出力範囲にデータを分割したり、データ補正作業を繰り返しと経験したことのない難題の連続。さらに家の色や形などを徹底してチェックする作業を、正月も春休みも返上して繰り返し、翌5月に完成に辿り着きました。

3Dプリンタ活用による石巻市沿岸部の復元立体模型の製作

『ふるさと、石巻の情景～ 石巻市門脇町・南浜町周辺 ～』の軌跡は:

http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/isocial/fukkou/torikumi/3dprinter_mokei.html

同、詳細は:

http://www.senshu-u.ac.jp/library/01_ishinomaki/fukkou-kyousei-project/02_torikumi/02_3d_printer/furusato_fukugen.pdf

同、復元立体模型の製作過程は:

http://www.senshu-u.ac.jp/library/01_ishinomaki/fukkou-kyousei-project/02_torikumi/02_3d_printer/seisakukatei.pdf

完成した立体模型は、2012年7月から石巻信用金庫様本店で展示され、1か月に200人(延べ2500人)を超える方々が訪れ、「我が家を見つけた」と涙ぐむ声や、「地域の姿を思い出させてもらった」など多くの感謝の言葉が聞かれたそうです。その後も石巻市役所をはじめ、避難住宅近くの同金庫支店への展示や市民ワークショップ、復興記念公園計画検討調査会への貸し出しなど、多くの方々の希望の糧となり、現在は復興計画への道しるべ的な存在になっており、市民フォーラムなどで活躍しております。

※次ページに画像がございます。

1)石巻信用金庫本店での展示

2)本年11月29日に石巻市で行われた原寸模型を使つての復興計画に向けた市民ワークショップ「石巻市南浜地区の未来を みんなで考えるワークショップ」での風景

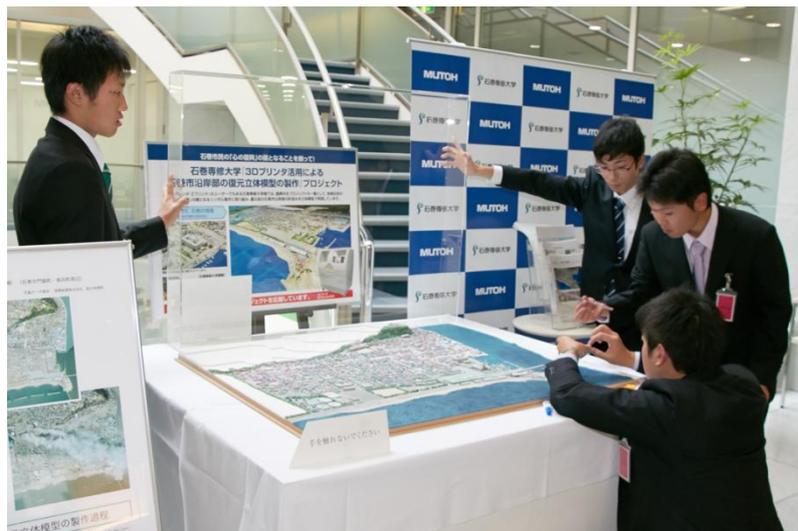
完成した模型の石巻信用金庫本店での展示準備完了時(2012年7月)



2014年11月29日(土)に門脇中学校で実施された、第二回市民ワークショップ
「石巻市南浜地区の未来を みんなで考えるワークショップ」



MUTOHショールームでの模型設置風景(2014年11月28日)



今後の継続的な支援を約束する早川社長と握手で答える益満准教授